

伊東市ダイバーズ協議会 第14回 緊急対処訓練
実施要綱
(案)

主催 伊東市ダイバーズ協議会

協力 赤沢ダイビングセンター
伊東市漁業協同組合赤沢支所

実施年月日 平成 20 年 2 月 25 日(月)

実施予定時間 午後 12:30～16:30

実施予定場所 赤沢港地先

実施要綱(案)作成 木部 悟・村井智臣
横田雅臣

緊急対処訓練 実施要綱

1、実施期日 場所等については表紙に記載の通り

2、目的

- 事故発生時の基本的な緊急対処手順の確認と対処の検討
- 緊急時における効率的な救助、搜索活動の訓練とその安全管理
- 今後の搜索依頼時のシミュレーション

3、実施内容

- ・行方不明者の水中搜索訓練
- ・事故者の水面曳航訓練

4、スケジュール

12:00 赤沢ダイビングサービス 3階テラス集合 参加者名簿記入

12:30 訓練開始

主催者、来賓等の挨拶

開催責任者 手順説明

参加チーム確認、チームごとのブリーフィング

13:10 参加者着替え、器材準備後 指定の場所に集合

13:30 訓練1 開始 水中搜索訓練

14:30 訓練1 終了

14:40 訓練2 開始 水面曳航訓練

15:10 訓練2 終了

現場引き上げ、片付け、着替え

16:00 指定の場所に集合

反省会、意見交換、質疑応答

16:30 反省会終了 解散

5、持ち物 片端にフックの付いた長さ3mの搜索時用ロープ(径3mm前後)

写真参考(付録参照)

水中ライト(シグナル用として)

ダイビング器材

ウェイト

緊急対処訓練 要項

P4 実施体制

P5 訓練1 行方不明者の水中搜索訓練

P6 訓練2 事故者の水面曳航訓練

P7 緊急時体制図

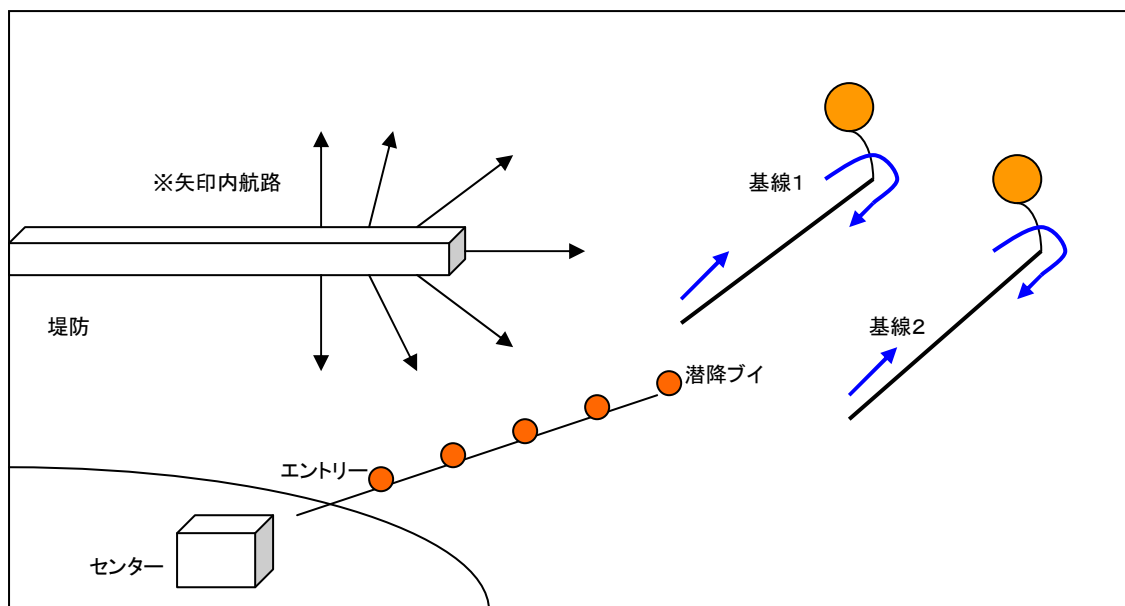
諸注意事項その他

- 1、事前の申し込みをされてない方は、集合時間の 10 分前に到着するようお願いいたします。
- 2、訓練参加者は、当日体調を十分に整えて訓練に臨むようにして下さい。
- 3、訓練中に体調の不良を覚えた方は、遅滞なく訓練責任者に申し出て下さい。
- 4、訓練が他の一般ダイバーの妨げになるような場合には、行動を一時中断して下さい。
- 5、全てにおいて安全を最優先させ、訓練といえども決して無理はしないで下さい。
- 6、実施前の打ち合わせには必ず参加し、不明な点は事前に解決しておきましょう。
- 7、訓練実施場所が漁船の航路に掛かる可能性がある為、水面浮上時に注意して下さい。
- 8、救急隊、警察及び保安庁から特別の指令があった場合は、それに従って下さい。

赤沢ダイビングサービス使用上の諸注意事項

- 1、ロッカーは基本的に着替え以外では使用しないで下さい。貴重品管理は自己管理とします。
- 2、駐車スペースを有効に活用する為、誘導員の指示に従って車を駐車してください。
- 3、サービス前の駐車スペースに限りがある為、当日はなるべく乗り合いでお越し下さい。

訓練1 行方不明者の水中捜索訓練



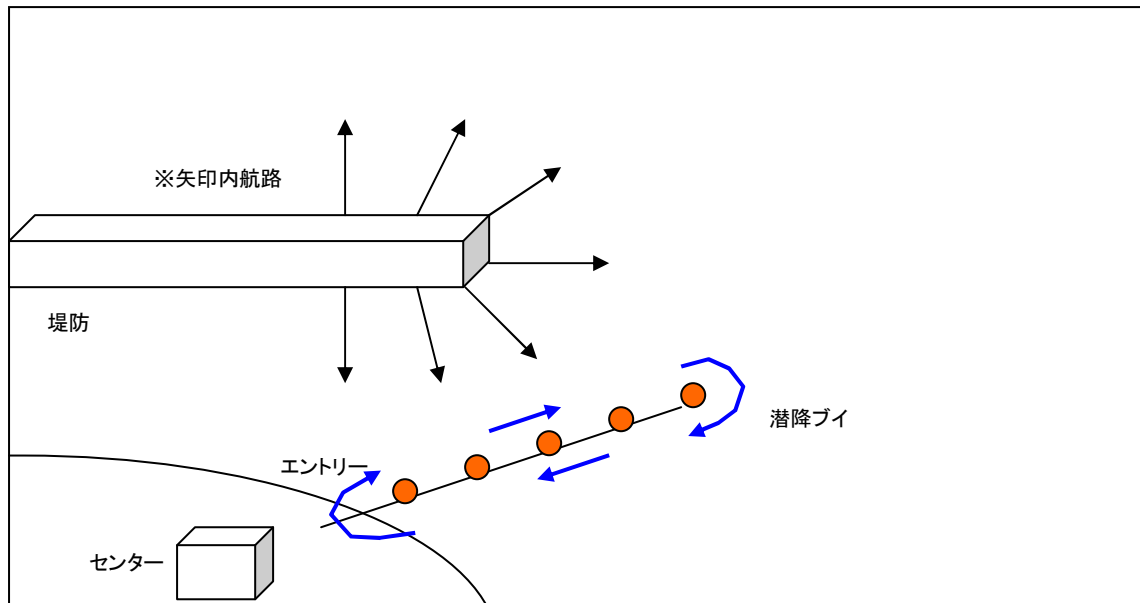
手順

- 1 チームA・Bエントリー
- 2 訓練場所(潜降ブイ)まで水面移動
- 3 準備完了後 潜降・訓練1回目開始(角度は °Cにセットし、ロープで繋ぐ)
- 4 チームC・Dエントリー(以下同手順)
- 5 1回目の訓練が終了したチームは浮上し、修正を行う
- 6 再度潜降・訓練2回目開始 (訓練は最高3回まで実施)

諸注意点

- ・ 浮上ごとにチームリーダーは人数確認をし、監督に合図を送ってください。
- ・ 必ず監督者を決め全体の行動を安全にコントロールしてください。
- ・ 事前によくコミュニケーションをとり協調行動をとれるようにしてください。
- ・ スタート&ストップや発見時の合図をよく打ち合わせておいてください。
- ・ 進行の際には全員が同じスピードで泳げるようお互いに気を付けてください。
- ・ ロープが弛んだり一方に寄り過ぎたりしないよう全員で気を付けてください。
- ・ 回転の際には基点になる人が180度で回れるようコントロールしてください。
- ・ 他チームと重なりそうな場合は待つなどして臨機応変に調整してください。
- ・ 今回の訓練では捜索する物体などを設定しません。

訓練2 事故者の水面曳航訓練



手順

- 1 訓練1が終了後 潜降ブイ付近で浮上し6人のチームを2つに分ける
- 2 3人1チームで曳航者2名事故者1名を決め水面ブイに沿って曳航訓練を開始
- 3 役割を交代しながら曳航を繰り返す(約20分)

諸注意点

- ・ 航路に侵入しないようにしてください。
- ・ 他の一般ダイバーが水面を使用する可能性があるので配慮して下さい。
- ・ 曳航方法については事前レクチャーにて話し合います。

緊急時体制図

緊急対処構成要員の役割

1. 訓練開催責任者

訓練開催責任者補佐

- 訓練参加者全員のエキジット確認
- 通報の確認
- 事故発生状況の把握
- 緊急対処構成要員への指示
- 事故後処置の指示
- 事故者所属事業所への連絡
- 訓練終了の宣言

2. 連絡要員B

- 関係各所への通報
- 救急隊への要請
- 関係各所への追加連絡
- 搬送先病院の確認
- 訓練実施チーム統括者補佐との連絡
- 事故処理表の作成

3. 訓練実施チーム統括者

訓練実施チーム統括者補佐

- 事故者引き上げ現場の整理
- 引き上げ要員のサポート
- 救急隊車両への同乗
- 車両にて病院へ追走
- 病院等から訓練開催責任者への連絡

4. 海岸引き上げ要員

- マウス・トゥ・マウス等の必要処置
- 救急隊への引き渡し

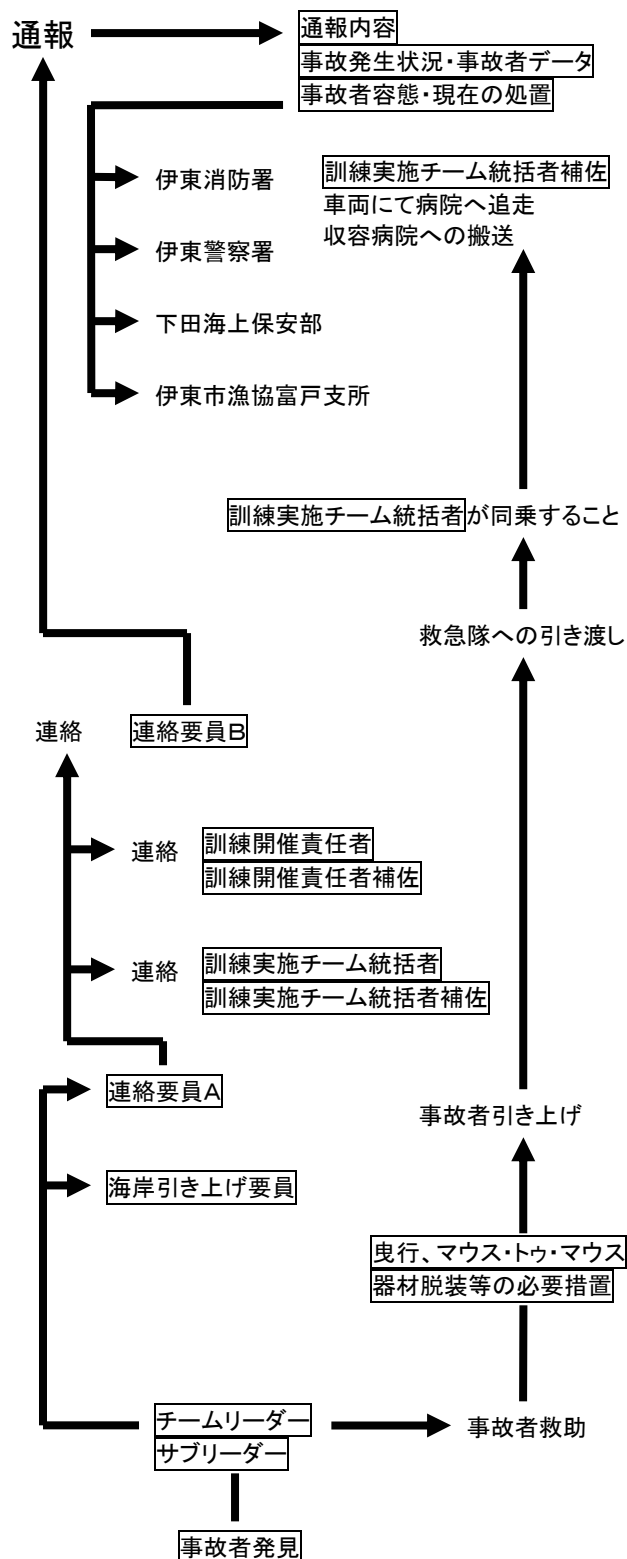
5. 連絡要員A

- 事故発生の連絡
- 事故発生時状況の把握
- 事故者の特定

6. チームリーダー

サブリーダー

- 各チームの参加者の安全確認
- 各チームのエキジット確認
- 各チームエキジット後の後処置指示
- 後処置後の待機指示
- 訓練開催責任者との連絡



付録

各自用意するロープ : 名称 バディランヤードまたはジョンライン
ロープの直径 : 写真のものは3.5mmを使用 3mm前後が望ましい

3mのロープの端に、金具を取り付ける プラススナップやスイベルスナップでも可
金具を取り付けた反対の端は、輪を作る



全体俯瞰



捜索用に各自のロープを繋ぐ

